

郡山市立公民館運営審議会が 教育長へ答申の報告をします



ターゲット 4.7

2026年3月25日
郡山市教育委員会
中央公民館
館長 片平 力也
TEL：934-1212

SDGs ターゲット 4.7 「全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を修得できるようにする」

郡山市立公民館運営審議会が、公民館長からの諮問事項に対する答申の内容について、教育長へ報告します。

- 1 日時 3月27日(金) 午前10時30分～
- 2 会場 市役所 教育長室 (本庁舎5階)
- 3 答申 全世代型生涯学習推進のための公民館事業の在り方について
- 4 出席者 郡山市立公民館運営審議会
委員長 横溝 聡子 様
副委員長 鈴木 和子 様
教育長
教育総務部長

<郡山市立公民館運営審議会>

社会教育法第29条に基づき、公民館長の諮問に応じ、公民館における各種事業の企画実施について、審議を行っており、令和7年2月の諮問から3回の審議会を開催し、今回、教育長へ答申の内容について報告を行います。

<諮問要旨>

勤労青少年ホームと中央公民館の統合により、子どもから高齢者まで全世代交流による幅広い事業運営への取り組みや本市の「第4期郡山市教育振興基本計画」に即した事業の展開が求められていることから、新たな生涯学習の中核的拠点としての中央公民館をはじめ、地区・地域公民館に今後求められる全世代型事業の在り方についてについて諮問。

<答申における提案の内容>

- 事業の拡充と機能の拡充の両面で、それぞれ4項目を提案
- ・事業の拡充 1 子ども・若者への取り組みの拡充 3 各地区・地域公民館との連携
(4項目) 2 ニーズに合わせた事業の実施 4 交流機会の創出
 - ・機能の拡充 1 社会教育人材の育成・活用 3 中央公民館の機能拡充
(4項目) 2 有資格者の適正な配置 4 ニーズに対応した運営体制

郡山市立公民館運営審議会委員名簿

任期:令和6年6月1日(※令和7年7月24日)~令和8年5月31日

◎:会長 ○:副会長 (敬称略)

区分	氏名	職業等
学校教育	高宮 裕	郡山市立明健小学校長
	多田 晋※	郡山市立三穂田中学校長
	山内 浩	福島県立郡山商業高等学校長
社会教育	菅野 瑞穂	NPOしんぐるぺあれんとF・福島事務局長
	本田 剛※	郡山市文化団体連絡協議会事務局長
	樽川 正規	日和田町伝統芸能高倉人形浄瑠璃副会長
	松村 賢剛	郡山市体育協会会長
家庭教育	○ 鈴木 和子	郡山家庭教育を支援する会庶務
	村上 和子	郡山市主任児童委員
	柳橋 久美	「のびのび子育て広場」サポーター
	菅原 正裕※	郡山市PTA連合会副会長
学識経験者	柳沼 悞	郡山市自治会連合会監事
	◎ 横溝 聡子	郡山女子大学短期大学部 幼児教育学科教授
	鈴木 由佳	公民館講座講師
	鈴木 祐介	福島民友新聞社郡山総支社 報道部長
	佐藤 嘉秀	郡山商工会議所常務理事
	二瓶 幸恵	株式会社エフコム専務取締役
	李 莉岩	日中文化ふれあいの会幸福会長
	柳沼 美咲	Spread From Fukushima 副代表
	三部 香奈	一般社団法人グロウイングクラウド代表理事
	北浦 典子	株式会社福島人材派遣センター常務取締役兼営業本部長
公募	増子 静江	会社員